

平成27年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 37  
ID 102007

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターとがくししょうまの家								
指定管理者名	社会福祉法人長野りんどう会					法人番号	5100005001714		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	1412	地域活動支援センターとがくししょうまの家							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	作業室、喫茶室、厨房、静養室								
施設設置目的	障害者に対し、通所の方法により創作的活動、生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図ることを目的とする。								
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者又は障害児の保護者の意思及び人格を尊重して、常に利用者等の立場に立ったサービスの提供に努める。</li> <li>・地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業を行う者その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供するもの等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。</li> </ul>								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業訓練、生活訓練、社会体験訓練、相談</li> </ul>								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協定、計画の一部が予定どおり実施されない</li> <li>・ 管理運営の一部において、市の指導が必要</li> </ul>
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協定、計画が全て実施されない</li> <li>・ 管理運営の全てにおいて、市の指導が必要</li> <li>・ 市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない</li> </ul>

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野りんどう会			指定回数	2 回	
指定期間	平成25年4月1日	～	平成30年3月31日	5年	管理運営開始日	平成20年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

No. 37

施設利用状況		利用区分等	単位	H24	H25	H26	H27	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用者数	人/日	5.0	6.1	6.9	6.2	90%	3
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
		(特記事項) 利用定員 10人 登録人数 (H28.3.31) 10人							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者に対する通所の登録に関する業務</li> <li>利用者の創作的活動又は生産活動の機会の提供</li> <li>利用者に対する社会との交流促進等の便宜供与に関する業務</li> <li>施設及び設備の維持管理に関する業務</li> </ul>							
	自主事業	交流活動（お花見、ふれあい祭、七夕、バーベキュー大会、マレットゴルフ、運動会、一泊旅行、料理教室、年忘れ会、クリスマス会、新年会など）							
サービス維持・向上の取組み（広報等）		<ul style="list-style-type: none"> <li>しょうまの花通信の発行（年12回）</li> <li>利用者の送迎実施（火曜日～金曜日）</li> </ul>							

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法 聞き取り	3
	(2) 調査、会議等の内容 利用者が話しやすいように工夫しながら利用者からの申し入れ時や作業の移動時等に自然な形で聞き取りを行った。	
利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 施設や職員に対する要望、不満等はなかった。	3
	(1) 良好とする評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>しょうまの家に来ることが張り合いです。</li> <li>規則正しい生活ができるようになった。</li> <li>毎日過ごす所が有るのがうれしい。</li> <li>指導員さん達がやさしいのがうれしい。</li> <li>自分の病気とうまく付き合うヒントをもらったとき。</li> <li>働く事が出来てうれしいです。</li> </ul>	
	(2) 苦情・改善等の要望事項 特になし	
<<対応措置>>		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成27年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成27年度決算		平成26年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	0	利用料金	0	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	8,380,000	指定管理料	8,380,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等	1,370,000	販売収入等	1,421,620		その他		その他	
	その他収入	101,000	その他収入	10,000					
	計	9,851,000	計	9,811,620		計	0	計	0
自主事業	人件費	6,605,000	人件費	7,352,154	自主事業	指定管理料	8,380,000	指定管理料	8,180,000
	設備管理費	630,000	設備管理費	537,379		委託料		委託料	
損益	備品購入費	0	備品購入費	9,518	差引	需用費		需用費	
	修繕費	170,000	修繕費			役務費		役務費	
	光熱水費	316,000	光熱水費	158,415		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	1,520,000	事業費	1,911,563		修繕費		修繕費	
	事務経費	610,000	事務経費	271,335		工事請負費	1,300,320	工事請負費	1,118,880
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費	
	その他		その他			その他		その他	
			減価償却費	73,637		計	9,680,320	計	9,298,880
	計	9,851,000	計	10,314,001					
	収入		収入	230,583					
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	230,583					
	損益	0		-271,798			-9,680,320		-9,298,880
	人件費比率【人件費（賃金等）／平成27年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								71.3%
	本社経費が、計画額と実績額で異なる理由								

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 所長：1名(1)、支援員：2名(2)、専任職員(運転手)：1名(1)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。	3
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
<ul style="list-style-type: none"> <li>豊岡荘（特別養護老人ホーム）の清掃業務を行う。</li> <li>長野市衛生センターから委託を受け、豊岡ニヶ所のトイレ清掃を行う。</li> </ul>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
<b>合計得点</b>			

評価理由

継続して実施している様々な交流活動は、施設利用者から高評価を得ている。利用者の支援方法や新たな利用希望者について、地区担当保健師と年6回の職員会を実施することで、細やかな配慮ができるようになり、利用者の安定につなげることができている。また、施設の維持管理や危機管理の対策は十分に講じられおり、指定管理者として適切に事業運営に当たったものと考えられる。

前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）
取組み・改善案等（施設所管課）	利用者増への取組みを継続して実施する。	地区担当保健師と協働して、利用希望者の掘り起こしを行なっているが、障害特性により利用に繋ぐことは容易ではない。徐々に関係性を作り日中活動への参加を促していく。

次年度の目標・取組み等（施設所管課）

引き続き、利用者増への取組みをする。施設内作業室のトイレドア等の幅が狭いなど、車椅子でのトイレ使用が困難なため床面をフラットにする等、バリアフリー化を図る。建築後20年を経過しているため、設備が故障した際の交換部品の製造が終了しているものもある。その場合、修理対応が出来なくなるため、年次計画により交換予定を作成する必要がある。

## 指定管理者自己評価

C

## (1) 今年度の取組みに対する評価

## ① サービス向上に向けての取組み

## ◎ 利用者が生きがいを持てるような日中活動支援

- ・月1回の行事実施  
りんどうお花見会、お花見会、料理教室（2回）、りんどうふれあい祭り、七夕まつり、バーベキュー大会、健康教室（2回）、りんどう運動会、クリスマス会、新年会
- ・年2回の宿泊旅行実施  
新潟県妙高市～信濃町、群馬県磯部温泉～鉄道博物館
- ・利用者の状態に応じた仕事場、創作活動等の場の提供  
特養豊岡荘の清掃（毎日）・市営公衆トイレの清掃（週2回）・喫茶店業務（出前・店内清掃）  
布ぞうり・スリッパ作り、古紙を使用したごみ袋作り、まきストーブ焚き付け紙作り
- ・就労支援（企業センター・豊岡荘）

## ◎ 利用者送迎の実施（火～金）

## ◎ 戸隠保健センター保健師との職員会（年6回）

## ◎ しょうま通信の発行（毎月）

## ◎ 避難・通報訓練の実施（年2回）

## ② 業務の効率化に対する取組み

## ③ その他

## (2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・多様化する利用者（知的障がい者の利用希望）への適切な支援方法が確立されていない。
- ・施設がバリアフリーになっていないため、下肢に障害のある利用希望があった場合、適切に対応できない。
- ・周辺地域の交通事情が悪い（バス運行時間）ため、短時間利用のニーズに対応しづらい。
- ・周辺地域の高齢化・人口減等に伴い、食堂利用者が減少している。
- ・通所範囲に限られることもあって、利用増（新規利用者の確保）が進んでいない。
- ・利用者及び保護者の高齢化や一人暮らしなど状況の変化により、日中以外の支援が必要な利用者が増加している。

## (3) 次年度以降の取組み

## 【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る